8月31日　創立４５周年記念研修会で法人のスタッフが一堂に会しました。

いたる通信 50

ITARU CENTER

祝五輪号

目次 contents

01 いたる地域ケアセンター

02 阿佐谷福祉工房 すまいる高井戸 いたる相談室 クローバー

03 あけぼの作業所 目黒本町福祉工房 GH事業部 イタール成城

04 Puku Puku さんまるしぇ 法人本部

事業を統合して福祉の拡充を行います!!

いたる地域ケアセンター　施設長　八巻（やまき）　利子（としこ）

今迄単独で活動を続けてきたグループホーム・ケアホーム事業部（以下、GH・CH事業部）・サポートウイズ・いたる相談室が統合し、平成25年8月1日より「いたる地域ケアセンター」としてスタートいたしました。目的は、地域で生活されている高齢者、障がい者の利用者様が安心して多々あるサービスを利用しながら住み慣れた地域で暮らしていけることが最大の目的です。サポートウイズには看護師が1名常駐し、GH・CHに入居されている利用者様の健康管理、障害福祉サービスを利用しながら1人暮らしされている利用者様の健康観察、通院介助では専門的な立場において担当医からの医療情報を聞きGH・CHの支援員や世話人に伝えることによって相談等を受ける機会も増え大活躍中です。GH・CHでは入居者様の高齢化が目立ち始めており、10年後には介護保険世代が20％を超えるようになります。「65歳になって障害福祉サービスを利用されている場合は介護保険が優先」となります。このような状況の中で「いたる地域ケアセンター」では高齢化してきたご利用者様を受け入れることのできる「デイサービス（介護保険）」の立ち上げを予定しています。そのため「居宅介護支援」を立ち上げ、介護支援専門員（ケアマネージャー）が現在活動中です。いたる相談室では、相談支援専門員が「サービス等利用計画」を立てるため、日々奮闘中です。相談支援専門員は、30名超えの利用者様を受け持っています。

今後は、「障害があっても生涯地域で暮らす」という法人の目標を達成できる「いたる地域ケアセンター」でありたいと職員一同頑張っています。

＊写真は9月14日（土）＊大型バスを初めてチャーターし、移動支援で「こどもの国」へ行きました。

出発前の阿佐ヶ谷駅前広場の様子

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費　1口5千円（何口でも可）

郵便振り込み　00110 7 12892

（問）3392-7346　事務局　山本まで

パン工房Puku Puku　Puku Puku の外販!!

工房長　池田（いけだ）　史暢（あやのぶ）

猛暑もやっと一服し、本格的なパンの季節となってきました。

暑い時期はどうしても衛生上の問題もあり外売り件数は少なかったのですが、当初の事業計画にもあるように秋以降は店内の販売だけでなく、外売りに力を入れています。

店内では新規商品（キッシュ、1つ200円）が好調な売れ行きをみせていますのでPOP、ブログ等を通じてお客様に発信して参ります。

一方、この夏に仕込んだ区内の児童館、保育室、子供園、保健所等新規開拓した外販先は15か所以上になります。更に二次加工スタッフ体制が落ち着きましたので、暫くお得意先のみで行っていた引き売りも本格的に再スタートをきっております。地元のお客様にPukuPukuブランドを浸透させて参ります。

何よりも阿佐谷福祉工房、あけぼの作業所、目黒本町福祉工房、サポートウイズ、グループホーム、スマイル高井戸等法人全体でサポートして下さっている事にスタッフ一同感謝しております。

外販の様子

秋限定メニュー　キッシュ
1ピース　200円

SunMarche（さんまるしぇ）店長　鈴木（すずき）　健（たけし）

さんまるしぇのディスプレイ

さんまるしぇでスタッフがディスプレイでいつも注意している事は、掲示物（ポスター、チラシ、プライスカード等）をまっすぐ貼る事と今お客様に何を一番お伝えしたいのかの2点です。

各施設からお預かりしている商品は手間暇かけた手作り感の溢れた商品です。その商品をいかにお客様の目に心地よくアピール出来るかは、私達スタッフの演出次第です。そのためには店内の掲示物がまっすぐ貼られていないと店自体がだらしなく見えるだけでなく、お預かりした商品までもがだらしなく見えてしまいます。

一方でお店にとって今、何をお客様に訴えかけたいのか、も重要なディスプレイの役割です。

今月スポットを当てて販売したい物を明確に打ち出す事が大切で、その為には目黒のさんま祭りのように地域のイベントをどう店の商品にも反映できるかが売上に影響するのだと毎日考えています。

目黒区内の施設の商品

製菓・製パン豊富な品揃え

法人本部より

法人45周年記念研修で永年勤続者を表彰

8月31日、法人設立45周年記念職員研修において、永年勤続者表彰が行われました。20年以上勤続者が2名、10年以上勤続者が4名で、該当者には旅行券が贈られました。人財を大切にする法人の姿勢と表彰者の労をねぎらい、会場には大きな拍手が湧きました。

20年以上勤続者：阿久津庄司、蓬田正信
10年以上勤続者：堺浩一、金澤妙子、篠原京子、影山仁美（敬称略）

いたる広報委員
発行責任者＝谷山　哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167－0032
東京都杉並区天沼1－15－18
TEL：03-3392-7346
FAX：03-3391-8039
Eメール：info@itarucenter.com
HP：http://www.itarucenter.com/
発行日／平成25年10月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。

阿佐谷福祉工房

清掃事業再開

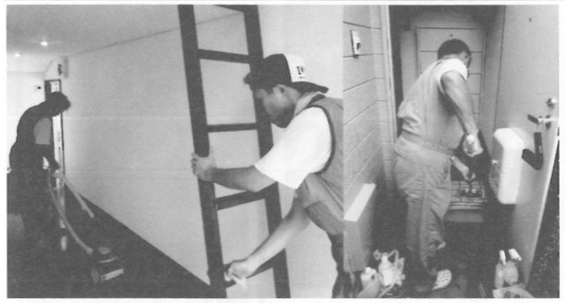
カガヤックグループリーダー　齋藤（さいとう）　直人（なおと）

今年の4月より清掃グループ「カガヤック」を立ち上げ公園清掃を再開しました。以前清掃を行っていた公園は、他の障害者施設が清掃に入っているので別の場所を探してのスタートでした。当施設より少し北側の地域ですが比較的清掃が行いやすい場所を確保できました。秋に落ち葉が多く少し大変ですが、施設内で出来るだけ堆肥化することによりゴミの減量にも協力しています。

現在は園地の清掃の他トイレ清掃もおこなっていますが、今後は除草作業なども積極的に取り入れていきながら園地の清掃の数を増やし工賃アップを図っていきます。

今年度はご利用者様5名と支援スタッフ1名で年間売上200万円を目指します。

異常気象が叫ばれる昨今ではありますが、水分補給に気を付け、ご利用者様の健康にも配慮しながら外活動を増やし、地域との交流を増やしていき、地域に愛され認知される事業運営を行っていきます。



室内清掃の様子

暑い夏も終わり寒い冬がもうすぐ始まりますが、温かい目で見守って頂けたらと思います。

清掃グループでは、公園清掃の他に専門業者からコーチング（技術指導）を受けながらワンルーム等の室内清掃も25，000円～で行っています。現在、年間100件程度ですが、確実にリピート客を獲得しています。今後が楽しみな事業でもあります。

すまいる高井戸（杉並区障害者地域相談支援センター高井戸）

近況報告

センター長　春山（はるやま）　陽子（ようこ）

4月にスタートし、月を追うごとに電話や面談での相談の方が増え、電話回線を1回線から2回線に増やしてもらい、職員・スタッフで支援に取り組んでいます。また、サービスを利用されていない方などへの家庭訪問も実施しています。

木曜日午後のストロベリーカフェ（グループワーク）は新たなメンバーがいらしています。また、7月から始まった精神障害の方が語れる場であるナチュラルカフェは、月1回日曜日の午後に開催し、好評を得ています。今後も、利用者の方と相談しながら、土日の活動などを考えていきたいと思います。

10月19日・20日には障害者福祉会館まつりがありますので、お近くの方のお越しをお待ちしています。

いたる相談室

近況報告

室長　渡邊（わたなべ）　紀子（のりこ）

いたる相談室の機能が特定相談支援事業所に変わりました。それに伴い平成25年8月28日より移転いたしました。場所は天沼にあります阿佐谷福祉工房内です。移転に際して皆様には、電話が通じ難い等ご不便をおかけし、まだご心配を頂きありがとうございました。無事、移転を済ませ、サービス等利用計画でお役に立っていく事業所となり、障害児者の皆様が地域で安心し、また自分らしい暮らしができるお手伝いをしてまいります。

スタートしたばかりですので、皆様のご意見を頂戴しながら信頼される事業所に成長していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

【新住所】杉並区天沼1－15－18
【電話】03－6383－5571
【FAX】03－3391－0292

クローバー事業部

合同契約会のご案内

所長　影山（かげやま）　仁美（ひとみ）

クローバーは、平成25年度前期の取り組みとして、区内の施設に出向き、その施設に通所されている方々と合同契約をさせていただきました。きっかけはクローバーの見学にいらした、とある通所施設職員と保護者の「普段通っている施設の中で、契約をしてもらえないか」というお声からでした。

そのご要望にお応えしたところ、10名近い方にご参加いただき、クローバーの契約内容やご利用時の詳細をご説明することができました。

また、この取り組みが好評のため、第2回はあけぼの作業所にご案内し、合同契約を開催いたしました。

今後も、このようなお声に耳を傾けていきたいとクローバーでは考えています。

あけぼの作業所

新しいコラボで工賃アップ

クッキンググループリーダー　山田（やまだ）　弘子（ひろこ）

今回はあけぼの作業所、チームクックの新たな活動をご報告させていただきます。今年の他施設見学でお知り合いになった、渋谷区でワインバーを経営されている入江様からのご紹介により、長野県のオーベルジュ・エスポワールの広報担当、鮎澤様、オーナーシェフの藤木様、（株）ゆい工房の小谷様、無添加調理のトータルサポートをされているピュア・リスペクトの三田様が9月10日にあけぼの作業所に来所されました。

長野県産の魚や鹿肉を使った食材とレシピを持参し、新たな缶詰商品の開発の幕開けです。

使用される食材の鹿肉は、長野県の障がい者施設が加工したものです。東京・長野の一流レストランと障がい者施設の新たなコラボレーションが始まろうとしています。

これから試行錯誤を重ねていきますが、近い将来「いたる通信」をご覧になっている方々、また、広く一般の方々のお手元に商品をお届けすることを楽しみにしております。

プロのコラボで新商品開発！！

目黒本町福祉工房

目黒区の障害者通所施設

施設長　阿久津（あくつ）　庄司（しょうじ）

目黒区の障害者通所施設は、区立、民間合わせて15施設あります。内訳は、公設公営が1施設、公設民営が目黒本町（以下、本町と略する）を含め5施設、民設民営が9施設あります。施設種別としては、公設6施設の内、生活介護3施設、就労継続支援B型が3施設、生活介護、就労継続支援B型の多機能型が本町1施設となっています。

民設では、生活介護2施設、就労継続支援B型3施設、多機能型が4施設となっています。各施設の定員は、20名～45名という規模で、唯一当施設が2施設の合併施設ということもあり70名と目黒では最も大規模な施設となっています。

私が本町に赴任して半年。実際に他施設の見学はまだ6施設程ですが、幸いなことに併設する福祉ショップ「Sunmarche（さんまるしぇ）」でほとんどの施設の自主製品を販売しており、それぞれの施設の活動が垣間見られます。

本誌発行時には、9月28日（土）開催の「第2回本町まつり」が成功裏に終わっていることと思います。

施設で印刷したTシャツがまつりを盛り上げます！！

グループホーム事業部

栄養の一元管理へ

統括リーダー　白瀧（しらたき）　則男（のりお）

以前より、健康面に関して各ホームでの食事のバラつきがあり、サービスとして問題視されてきました。今後、高齢になられるご利用者の栄養面は、重要な課題と位置づけ、生活の場面で支援ができないか考えました。まずは、私たち世話人たちでどのぐらい配食の事をできるかなど試行錯誤をして半年経過しました。その結果プロである、あけぼの作業所のクッキンググループに協力をお願いし、配食を開始しました。以前より利用していた業者の配食よりご利用者の評判がよく、工賃アップに貢献しました。今後もご利用者の喜びにつなげ、なおかつ安全に取り組んでまいります。

おいしい食事を提供しています！

イタール成城について

福祉の充実に向けて

法人本部

都有地（都営成城八丁目アパート跡地）定期借地賃貸契約による地域の福祉インフラ整備事業の公募から2年。借受予定者に決定して以来、さまざまな事業報告書や協議書を提出しました。ようやく今年の11月より着工に入り、竣工が26年10月、27年2月から開所予定です。

イタール成城は、生活介護45名、短期入所5名、共同生活介護・共同生活援助各5名から成る複合型の障害福祉サービス事業所で、当法人の施設としては、初めて世田谷区にできる施設です。

日本有数の高級住宅街に位置し、行政や地域の注目度も高い施設です。

ぜひとも応援よろしくお願いいたします。

イタール成城完成予想図